

新世紀とやま文化振興計画の見直しについて

○ 見直しの観点

(1) 文化振興のための「3つの視点」を導入する。

現在、新総合計画の見直しにおいて、今後の県づくりにおいて特に重要となる3つの視点を提示している。これらの視点は、今後10年を見据え、富山県が一層の発展を遂げるために不可欠なキーワードというべきものであり、県づくりの目標に向かって諸政策を展開するにあたり、常にこうした視点を中心に据えながら取り組んでいくことにしている。いずれの視点も文化振興にあたって不可欠なものであり、本計画の見直しにあたっても同様に3つの視点を提示することとする。

視点①「人材」

視点②「環日本海・アジア新時代の到来などグローバル化への対応」

視点③「ふるさと」

(2) 県民の視点に立った成果重視の計画とする。

県民の視点に立って、施策の実施によって県民生活にどのような成果をもたらされたかを明確にするため、成果を重視した計画とする。このため、基本目標を具体的にイメージするための参考となる「県民参考指標」を設定する。

県民参考指標

- ①全児童・生徒のうち国及び県の文化事業に参加した子どもの割合
 - ②芸術文化に親しむ機会が充足されていると思う人の割合
 - ③県立文化ホールの利用率
 - ④文化に関する国際交流事業数（派遣、招聘別）
- 等

(3) 県民と目標を共有し協働で文化振興に取り組む計画とする。

文化活動の担い手は、文化に関心を持ち、これに参加する県民一人一人であり、また、文化活動を組織的に行っていく場合は、県や芸術文化団体、企業など様々な主体の連携が不可欠となる。文化振興を図るため、県の役割や県民、芸術文化団体、企業などの各主体に期待される役割を明示することとする。

県の役割と県民等に期待する主な役割

【県】

- ・県民が文化を鑑賞、創造、交流するための機会の確保
- ・質の高い文化の創造、発信が行われるよう支援
- ・観光、まちづくり、産業など他分野との連携を図る
コーディネーター

【県民】

- ・文化活動への幅広い参加、支援

【芸術文化団体】

- ・学校・地域と連携した文化活動の推進
- ・文化施設の企画運営への参加

【企業】

- ・地域文化活動への支援、参加

【市町村】

- ・地域文化活動の振興、支援
- ・文化施設の拠点化の推進

【文化施設】

- ・県民ニーズに配慮した運営
- ・地域、NPO、ボランティア、企業との連携